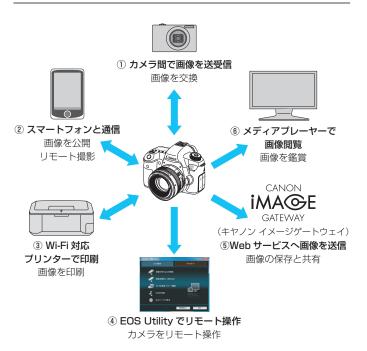
Canon

EOS 6D (WG)

Wi-Fi機能 使用説明書

無線LANでできること

Wi-Fi®（ワイファイ）や、本機の無線LAN機能と互換性のある製品と無線で接続し、画像の送受信やカメラの操作などを行うことができます。

- CANON iMAGE GATEWAYのWebサービスは、国/地域によっては対応していない場合があります。CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト（http://canon.com/cig）でご確認ください。
- 国/地域によっては「Webサービスへ画像を送信」の設定が、パソコンからできない場合があります。

① **カメラ間で画像を送受信**（p.19）
　無線LAN機能を内蔵した、キヤノン製のカメラ同士で画像の送受信を行うことができます。

② **スマートフォンと通信**（p.31、75）
　スマートフォンでカメラ内の画像を見たり、カメラの操作を行うことができます。スマートフォンに専用アプリケーション「EOS Remote」をインストールして使用します。

③ **Wi-Fi対応プリンターで印刷**（p.45、87）
　無線LAN で使えるPictBridge（DPS over IP）に対応したプリンターに接続して、画像の印刷を行うことができます。

④ **EOS Utilityでリモート操作**（p.93）
　EOS Utilityは通常、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続して利用しますが、インターフェースケーブルの代わりに無線LANでEOS Utilityが利用できるようになります。

⑤ **Webサービスへ画像を送信**（p.103）
　キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービスである、CANON iMAGE GATEWAY（登録無料）に画像を保存したり、保存した画像を家族や友人に見せることができます。

⑥ **メディアプレーヤーで画像閲覧**（p.131）
　カメラにセットされたカード内の画像を、DLNA*対応のメディアプレーヤーを使用して、無線LAN経由でテレビに映すことができます。

* Digital Living Network Alliance（デジタル リビング ネットワーク アライアンス）

機能が使えるようになるまでの流れ

カメラ間で画像を送受信

準備	カメラ同士を接続する
接続	無線LANでカメラ同士を直接接続
できること	カメラ間で画像を送受信する

スマートフォンと通信

準備	・スマートフォンにEOS Remoteをインストールする ・カメラとスマートフォンを接続する
接続	・カメラアクセスポイントモード*[1] ・インフラストラクチャーモード*[2]
できること	・カメラ内の画像を閲覧する ・リモート撮影する

Wi-Fi対応プリンターで印刷

準備	・無線LAN で使えるPictBridge（DPS over IP）対応プリンターを用意する ・カメラとプリンターを無線LANで接続する
接続	・カメラアクセスポイントモード*[1] ・インフラストラクチャーモード*[2]
できること	画像を再生して印刷する

EOS Utilityでリモート操作

準備	・EOS Utilityがインストールされたパソコンと、無線LANの環境を用意する ・カメラとパソコンを無線LANで接続する
接続	・アドホックモード*[3] ・インフラストラクチャーモード*[2]
できること	EOS Utilityでカメラをリモート操作する

	Webサービスへ画像を送信	メディアプレーヤーで画像閲覧
準備	・EOS Utilityがインストールされているパソコンと、インターネットに接続できる無線LANのアクセスポイントを用意する ・CANON iMAGE GATEWAYに会員登録する ・Webサービスが利用できるようにカメラを設定する	・DLNA対応の機器と、無線LANのアクセスポイントを用意する ・テレビにメディアプレーヤーを接続する ・カメラとメディアプレーヤーを無線LANで接続する
接続	インフラストラクチャーモード*2	インフラストラクチャーモード*2
できること	・Webサービスへ画像を送信する ・知り合いにメールを送信する	メディアプレーヤーを操作して、カメラ内の画像を閲覧する

*1 **カメラアクセスポイントモード：**
カメラとスマートフォン、カメラとプリンターを無線LANで直接接続できる、手軽な無線LANモードです。

*2 **インフラストラクチャーモード：**
無線LANアクセスポイントを経由して各Wi-Fi機器に接続する無線LANモードです。各Wi-Fi機器が離れた場所にあっても、無線LANアクセスポイントが近くにあれば通信することができます。

*3 **アドホックモード：**
無線LAN内蔵のパソコンと直接接続できる無線LANモードです。パソコンの無線LAN機能をアドホックモードにしておく必要があります。

- CANON iMAGE GATEWAYのWebサービスは、国/地域によっては対応していない場合があります。CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト（http://canon.com/cig）でご確認ください。
- 国/地域によっては「Webサービスへ画像を送信」の設定が、パソコンからできない場合があります。

本使用説明書上のおことわり

- 本書は、Wi-Fi とキヤノン独自の無線機能を総称して「無線 LAN」と表記しています。
  また、無線LANの接続を中継する無線LAN端末（無線LANアクセスポイントまたは無線LANアダプター）を、「アクセスポイント」と表記しています。
- 本文中の［　］内の語句は、パソコン画面上に表示されるボタン名称や、アイコン名称などを示しています。また、カメラのメニューに表示される内容を示しています。
- 本文中の（p.＊＊）の＊＊は、参照ページを示しています。
- 本文中の以下のマークの付いた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。

  : 使用する際に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

  : 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における商標または登録商標です。
- Macintoshは、米国および他の国で登録された米国アップル社の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- UPnPは、UPnP Implementers Corporationの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

本機を使用するために、誤った無線LAN設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機を使用した結果生じた損害に対しましても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。

章目次

目　次

1

無線 LAN 機能の基本設定

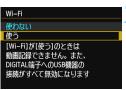
この章では、カメラの無線LAN機能を使用する前に必要な設定について説明しています。

ニックネームを登録する

はじめに、カメラにニックネーム（名前）を付けます。

このニックネームは、無線LANで他の機器と接続するときに、接続先の機器で表示されます。必ず設定してください。

1 [Wi-Fi] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を選び、〈SET〉を押します。

2 [使う] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [使う] を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ [Wi-Fi機能] が選択できるようになります。

3 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi機能] を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 初めて設定するときは、ニックネームの登録を促す画面が表示されます。[OK] を選んで手順4に進んでください。

4 ニックネームを入力する

- 入力方法は、次ページの『仮想キーボードの操作方法について』を参照してください。
- 最大16文字入力できます。

5 終了する

- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押します。
- 確認画面で［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、ニックネームが登録され、［**Wi-Fi機能**］画面に進みます。

- ニックネームを変更するときは、上記の画面で〈**INFO.**〉ボタンを押し、表示される画面で［**ニックネーム変更**］を選びます。

仮想キーボードの操作方法について

● 入力エリアの切り換え

〈Q〉ボタンを押すと、上下の入力エリアが交互に切り換わります。

● カーソルの移動

上側のエリアで〈◀▶〉を押すと、カーソルが移動します。

● 文字の入力

下側の入力エリアで〈▲▼〉〈◀▶〉を押して文字を選び、〈SET〉を押して文字を入力します。

画面右上の「*/*」で、入力した文字数と入力できる文字数を確認することができます。

● 文字の削除

入力を間違えたときは、〈🗑〉ボタンで消去します。

● 入力の終了

〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して終了します。確認画面が表示されたときは、［OK］を選んで終了します。

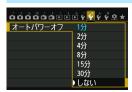
● 入力のキャンセル

〈INFO.〉ボタンを押すと、入力をキャンセルして終了します。確認画面が表示されたときは、［OK］を選んで終了します。

基本的な操作と設定

無線LAN機能使用中の操作について

- 無線 LAN 機能を優先したいときは、シャッターボタンやモードダイヤル、再生ボタンなどを操作しないでください。撮影操作や再生操作を優先して、無線LAN機能が途中で終了することがあります。
- ［Wi-Fi］を［**使う**］に設定しているときは、動画撮影はできません。また、インターフェースケーブルでカメラとパソコン、プリンター、GPSレシーバーなどを接続しても使うことはできません（p.17）。

オートパワーオフについて

- ［🔧2］タブの［**オートパワーオフ**］は、必要に応じて［**しない**］に設定してください。
- 無線LAN の接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いた場合は、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

［🔧3］タブ［Wi-Fi］について

- 飛行機内や病院内などで、電子機器や無線機器の使用が禁止されているときは、［🔧3］タブの［**Wi-Fi**］を［**使わない**］に設定してください。

[Wi-Fi] の設定と接続状態について

カメラの液晶モニターと表示パネルで、[3] タブの [Wi-Fi] 設定と通信状態を確認できます。

Wi-Fi機能

Wi-Fi通信状態

Wi-Fi機能

OFF	[3：Wi-Fi] が [使わない] のとき
OFF	[3：Wi-Fi] が [使う] で接続を解除しているとき

		接続中
(← →)		送信中
（点滅）		接続エラー
（点滅）		接続待機中 再接続待機中

（消灯） Wi-Fi OFF	接続を解除
Wi-Fi ON	接続中 送信中 接続待機中
（点滅） Wi-Fi ON	再接続待機中
（点滅） Wi-Fi ON（点滅）	接続エラー

インターフェースケーブルの接続について

- ［¥3］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、インターフェースケーブル接続が無効になります。［**使わない**］に設定してからインターフェースケーブルを接続してください。
- インターフェースケーブルでパソコンやプリンター、GPS レシーバーなどに接続しているときは、［**Wi-Fi**］の設定を変更することができません。インターフェースケーブルを抜いてから設定を行ってください。

Eye-Fiカードの使用について

- ［¥3］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、Eye-Fiカードでの画像転送はできません。

2

カメラ間で画像を送受信

無線LAN機能を持つキヤノン製のカメラ同士で、画像の送受信を行うことができます。

- 無線接続できるのは、2012 年以降に発売されたキヤノン製の無線LAN機能内蔵カメラです。なお、キヤノン製の無線LAN機能内蔵ビデオカメラとは接続できません。
- Eye-Fiカードに対応していても、無線LAN機能を内蔵していないキヤノン製カメラとは接続できません。
- 送受信できる静止画のファイル形式はJPEGのみです。
- 動画も送受信できますが、受信した動画のファイル形式にカメラが対応していないと再生できません。

接続先を選ぶ

無線LANで接続する、相手のカメラを登録します。
一度に接続できるカメラは、1台だけです。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [ ] を選ぶ

- 〈▲▼〉〈◀▶〉を押して [ ] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。

3 接続先のカメラを設定する

- 左の画面が表示されたら、接続先のカメラでも接続の設定を行います。操作方法については、ご使用のカメラの使用説明書を参照してください。
- 接続が完了すると、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。

4 送信する画像を選ぶ

- 送信する側のカメラで画像を選びます(p.22)。
- 受信する側のカメラでは、何も操作をしないでください。

受信した画像にGPS情報が付加されていても、カメラの再生画面でGPS情報は表示されません。なお、ソフトウェアのMap Utility（マップユーティリティー）を使用すると、パソコンの地図上に撮影場所を表示できます。

- 接続したときの設定は、接続したカメラのニックネームで自動的に保存/登録されます。
- ほかのカメラと接続しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

画像を送信する

1枚ずつ送信する

選んだ画像を1枚ずつ送信します。

1 送信する画像を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- 〈Q〉ボタンを押して〈ダイヤル〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶこともできます。〈ダイヤル〉を右に回すと1枚表示に戻ります。

2 [この画像を送信]を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して［**画像サイズ縮小**］を選ぶと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◀▶〉を押して［**この画像を送信**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 送信状態を示す画面が表示されます。

- 続けて送信するときは、手順1、2を繰り返します。

3 接続を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

➡ ［Wi-Fi機能］の選択画面に戻ります。

接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続が終了します。

RAW画像は送信できません。

画像を選んで送信する

複数の画像（最大50ファイル）を選択して送信します。

1 〈SET〉を押す

2 ［選んで送信］を選ぶ

- 〈◄►〉を押して［**画像サイズ縮小**］を選ぶと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◄►〉を押して［**選んで送信**］を選び、〈SET〉を押します。

3 送信する画像を選ぶ

- 〈◄►〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。

➡ 送信する画像の左上に〈✓〉が表示されます。

- 〈Q〉ボタンを押して〈ダイヤル〉を左に回していくと、3画像表示にして選ぶこともできます。〈ダイヤル〉を右に回すと1枚表示に戻ります。
- 送信する画像の選択が終わったら、〈Q〉ボタンを押します。

4 画像サイズを縮小する

- 必要に応じて設定します。
- 設定方法は、次ページを参照してください。

5 画像を送信する

- 〈▲▼〉を押して［**送信**］を選び、〈SET〉を押して送信します。
- ➡ 送信状態を示す画面が表示されます。
- 続けて転送するときは、手順1～5を繰り返します。

6 接続を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。
- ➡ ［Wi-Fi機能］の選択画面に戻ります。

- 送信するファイルサイズが大きいときは、電池の残量にご注意ください。
- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続が終了します。

- RAW画像は送信できません。
- 一度に50ファイルまで送信できます。

送信する画像サイズを縮小する

［**選んで送信**］を選んだときは、送信の確認画面でも送信する画像の画像サイズを選ぶことができます。

1 ［送信画像サイズの縮小］を選ぶ

- 送信の確認画面で〈▲▼〉を押して［**送信画像サイズの縮小**］を選び、〈SET〉を押します。

2 画像サイズを選ぶ

- 〈▲▼〉を押して画像サイズを選び、〈SET〉を押します。

3 画像を送信する

- 〈▲▼〉を押して［**送信**］を選び、〈SET〉を押して送信します。

- 選択した画像サイズよりも大きい画像のみ縮小されます。
- 動画は縮小できません。
- ［**S2に縮小**］、［**S3に縮小**］が有効になるのは、EOS 6D（WG）で撮影された静止画だけです。それ以外のカメラで撮影された画像は、画像サイズを縮小せずに送信されます。

再接続する

接続設定を登録したカメラに再度接続します。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [] を選ぶ

- [] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- 接続先のカメラでも再接続の操作を行います。
- ➡ カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。
- 設定の名称は、初期設定では接続先カメラのニックネームが表示されます。

複数の接続設定を登録する

カメラ間の接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

● [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

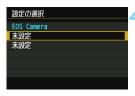
2 [📷] を選ぶ

● [📷] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の選択] を選ぶ

● [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。

4 [未設定] を選ぶ

● [未設定] を選び、〈SET〉を押します。

➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

設定の名称は、後から変更することができます (p.28)。

設定の名称を変更する

再接続するときに表示される設定の名称は、あとから変更することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [] を選ぶ

- [] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の確認と変更] を選ぶ

- [設定の確認と変更] を選び、〈SET〉を押します。

4 [設定の名称を変更] を選ぶ

- [設定の名称を変更] を選び、〈SET〉を押します。

5 設定の名称を変更する

- 仮想キーボードで設定の名称を変更します（p.14）。最大30文字入力できます。
- 入力が終わったら〈MENU〉ボタンを押します。
- 確認画面で［OK］を選んで〈SET〉を押すと、変更が完了します。
- 〈MENU〉ボタンを3回押すと、メニュー画面に戻ります。

3

スマートフォンと通信 -1

スマートフォンと通信して、スマートフォンからカメラ内の画像閲覧や操作、画像の受信ができるほか、スマートフォンを使用してリモート撮影を行うことができます。

事前準備

使用できるスマートフォンのOSについて

下記のOSがインストールされたスマートフォンに対応しています（2012年9月現在）。

最新の対応OSについては、EOS Remoteのダウンロードサイトでご確認ください。

- **iOS　：バージョン5.0-5.1**
- **Android：バージョン2.3.3-4.0**

スマートフォンにEOS Remoteをインストールする

スマートフォンと通信を行うには、専用アプリケーションの EOS Remoteを使用してスマートフォンに接続します。

EOS RemoteはApp StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。接続するスマートフォンにEOS Remoteをインストールしてから接続操作を行ってください。

カメラアクセスポイントモードで接続する

カメラとスマートフォンを無線LANで直接接続します。

アクセスポイントが無くても接続できるので、外出先でも手軽に通信を行うことができます。

なお、接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [¥3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [□] を選ぶ

- [□] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。

3 [カメラアクセスポイントモード] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [カメラアクセスポイントモード] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

4 [簡単接続] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [簡単接続] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- 手動で接続する場合は、36 ページを参照してください。

5 スマートフォンを操作してカメラに接続する

- お使いのスマートフォンのWi-Fiに関する設定メニューから、カメラの液晶モニターに表示されるSSID（ネットワーク名）を選択します。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示される暗号キーを入力します。

➡ スマートフォンの操作が完了していなくても、自動的に次の画面に進む場合があります。

6 スマートフォンのEOS Remoteを起動する

- Wi-Fiの設定が完了したら、スマートフォンのEOS Remoteを起動します。

7 スマートフォンで［カメラ接続］を選ぶ

- EOS Remoteの［**カメラ接続**］を選びます。

8 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

- EOS Remoteの［**検出カメラの一覧**］から、接続するカメラを選びます。

➡ ペアリングが開始されます。

ASCII（アスキー）以外の文字は、□で表示されます。

9 カメラを接続する

- ペアリングが終了すると、左の画面が表示されます。〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押します。
- 公開する画像を制限するときは、〈**INFO.**〉ボタンを押します。詳しくは、『閲覧できる画像を設定する』（p.40）を参照してください。

10 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順11に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

11 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ ［**動作中**］の画面が表示されます。

これでスマートフォンとの通信設定は完了です。

[手動接続] を選んだ場合

表示される画面にしたがって [SSID]、[チャンネル設定]、[暗号化の設定] を設定します。

1 SSIDを入力する

- 仮想キーボード（p.14）で任意の文字列を入力します。
- 入力が終わったら〈MENU〉ボタンを押します。

2 [自動設定] を選ぶ

- [自動設定] を選んで〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- 手動で選ぶときは、[手動設定] を選び、〈〉を回して設定します。

3 [しない] を選ぶ

- [しない] を選んで〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、34ページの手順5の画面に進みます。
- 暗号化するときは [AES] を選び、仮想キーボード（p.14）で任意の暗号キーを入力します。

スマートフォンでカメラを操作する

　スマートフォンにインストールしたEOS Remoteを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などを行うことができます。

EOS Remoteのメイン画面

　EOS Remoteでは、主に下記のことを行うことができます。操作方法は、EOS Remoteの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内画像の表示]

- カメラ内の画像が閲覧できます。
- スマートフォンにカメラの画像を保存することができます。
- カメラ内の画像に対し、削除などの操作を行うことができます。

[リモート撮影]

- カメラのライブビュー映像をスマートフォンで見ることができます。
- カメラの設定を変えることができます。
- レリーズ操作で撮影することができます。

（設定ボタン）

- EOS Remoteの各種設定ができます。

- 閲覧できる画像を制限する（p.40）と、EOS Remoteの機能が制限されます。
- スマートフォンと接続中は、撮影できないことがあります。

接続を終了する

1 [終了] を選ぶ

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で［ 3］タブの［Wi-Fi機能］を選びます。
- ［終了］を選び〈SET〉を押します。

2 [OK] を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

- スマートフォンへは、S2サイズのJPEG画像で保存されます。RAW画像もS2サイズのJPEG画像で保存されます。
- 動画は一覧に表示されますが、保存はできません。
- 無線LANの接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いた場合は、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

再接続する

接続設定を登録したスマートフォンに再度接続します。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [**使う**] に設定したあとで、[**Wi-Fi機能**] を選びます。

2 [] を選ぶ

- [] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- [**接続**] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- ➡ スマートフォンに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[**設定の選択**] を選び、接続先を選んでから接続します。

閲覧できる画像を設定する

カメラ側の操作で、スマートフォンで閲覧できる画像を設定することができます。

1 [Wi-Fi機能]を選ぶ

- [🔧3]タブの[Wi-Fi]を[使う]に設定したあとで、[Wi-Fi機能]を選びます。

2 [📱]を選ぶ

- [📱](スマートフォンと通信)を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の確認と変更]を選ぶ

- [設定の確認と変更]を選び、〈SET〉を押します。

4 [公開画像の設定]を選ぶ

- [公開画像の設定]を選び、〈SET〉を押します。

5 項目を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

[すべての画像]

カード内のすべての画像を公開します。

[今日から何日前までの画像]

撮影日で画像を公開します。最大で9日前までの画像を指定できます。

- 〈▲▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- [**何日前までに撮影した画像**] のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。日数が〈⇕〉の状態で〈◎〉を回して日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

[レーティング]

レーティングを付加した画像（または付加していない画像）やレーティングの種類で公開する画像を指定します。

- 〈▲▼〉を押してレーティングの種類を選び、〈SET〉を押すと公開する画像が設定されます。

[範囲で指定]

始点　終点

ファイル番号順に並んだ画像の、開始と終了の画像を選んで公開する画像を指定します。

1 〈◄►〉を押してファイルの始点を選びます。
2 〈SET〉を押して、画像の選択画面を表示します。
〈◄►〉や〈◎〉、〈⚙〉で画像を選びます。
〈Q〉ボタンを押して〈⚙〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶこともできます。〈⚙〉を右に回すと1枚表示に戻ります。
3 画像を選び、〈SET〉を押して決定します。
4 同様の操作で、ファイルの終点を設定します。
始点に選んだ画像よりも、あとに撮影した画像を選びます。
5 始点と終点の設定が終わったら、〈▲▼〉を押して[OK]を選び、〈SET〉を押します。

複数の接続設定を登録する

スマートフォンとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [□] を選ぶ

- [□] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉 を押します。

3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉 を押します。

4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉 を押します。
- ➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

4

Wi-Fi 対応プリンターで印刷 -1

無線LAN で使えるPictBridge（DPS over IP）に対応したプリンターと無線LAN接続して、直接印刷することができます。

アクセスポイントを経由して印刷するときは、55ページを参照してください。

この製品は、無線LAN 経由でのPictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でもPictBridge を利用できるDPS over IP（ディーピーエス オーバー アイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

カメラアクセスポイントモードで接続する

カメラとプリンターを無線LANで直接接続します。アクセスポイントが無くても接続できるので、どこでも手軽に印刷を行うことができます。

Wi-Fiのアクセスポイント経由で印刷するときは、『Wi-Fi の無線LAN アクセスポイントを利用する』（p.55）を参照してください。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [ ] を選ぶ

- [ ]（Wi-Fi 対応プリンターで印刷）を選び、〈SET〉を押します。

3 [カメラアクセスポイントモード] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [カメラアクセスポイントモード] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

4 [簡単接続] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [簡単接続] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- 手動で接続する場合は、49 ページを参照してください。

5 プリンターを接続する

- お使いのプリンターのWi-Fiに関する設定メニューから、カメラの液晶モニターに表示されるSSID（ネットワーク名）を選択します。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示される暗号キーを入力します。
- プリンターの操作方法については、プリンターの使用説明書を参照してください。

6 接続するプリンターを選ぶ

- 検出されたプリンターの一覧が表示されたら、接続するプリンターを選んで〈SET〉を押します。
- ➡ プリンターの機種により、電子音が「ピピッ」と鳴ることがあります。
- プリンターが16台以上検出されたときや、3分以上検索を続けたときは、［**再検索**］が選択できます。

7 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順8に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

8 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ ［**動作中**］の画面が表示されます。

これでプリンターとの通信設定は完了です。

[手動接続] を選んだ場合

表示される画面にしたがって［**SSID**］、［**チャンネル設定**］、［**暗号化の設定**］を設定します。

1 SSIDを入力する

- 仮想キーボード（p.14）で任意の文字列を入力します。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押します。

2 [自動設定] を選ぶ

- ［**自動設定**］を選んで〈SET〉を押します。
- ［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- 手動で選ぶときは、［**手動設定**］を選び、〈〉を回して設定します。

3 [しない] を選ぶ

- ［**しない**］を選んで〈SET〉を押します。
- ［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、47ページの手順5の画面に進みます。
- 暗号化するときは［**AES**］を選び、仮想キーボード（p.14）で任意の暗号キーを入力します。

印刷する

画像を再生する

- 〈▶〉ボタンを押します。
- ➡ 画像が表示され、画面左上にプリンターが接続されたことを示すマーク〈〉が表示されます。
- 以降の操作は、カメラ使用説明書の『画像の印刷』を参照してください。
- カメラ使用説明書の『印刷指定画像のダイレクトプリント』も行うことができます。

接続を終了する

1 [終了] を選ぶ

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で［3］タブの［Wi-Fi機能］を選びます。
- ［終了］を選び〈SET〉を押します。

2 [OK] を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

再接続する

接続設定を登録したプリンターに再度接続します。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [] を選ぶ

- [] (Wi-Fi 対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- ➡ プリンターに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

プリンターとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

● [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [] を選ぶ

● [] (Wi-Fi 対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の選択] を選ぶ

● [**設定の選択**] を選び、〈SET〉を押します。

4 [未設定] を選ぶ

● [**未設定**] を選び、〈SET〉を押します。

➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

5

Wi-Fi の無線 LAN アクセスポイントを利用する

Wi-Fiの無線LANアクセスポイントを利用すると、下記の無線LAN機能を使うことができます。

・スマートフォンと通信
・Wi-Fi対応プリンターで印刷
・EOS Utilityでリモート操作
・Webサービスへ画像を送信*
・メディアプレーヤーで画像閲覧

* Webサービスに画像を送信するときは、この章の説明は読まずに、103ページを参照してください。

スマートフォンと通信について

[▯]（スマートフォンと通信）を使用するためには、下記のOSがインストールされたスマートフォンが必要です（2012年9月現在）。

・iOS ：バージョン5.0-5.1
・Android：バージョン2.3.3-4.0

また、あらかじめスマートフォンに、専用アプリケーションのEOS Remoteをインストールしておく必要があります。EOS Remoteは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。

アクセスポイントの種類を確認する

- **WPS（Wi-Fi Protected Setup：ワイファイ プロテクテッド セットアップ）に対応している場合**
  - p.57：WPS（PBC方式）で簡単接続
  - p.62：WPS（PIN方式）で簡単接続

- **WPSに対応していない場合**
  - p.67：ネットワークを検索して手動で接続

お使いのアクセスポイントがWPSに対応しているか分からないときは、アクセスポイントの使用説明書などを参照して確認してください。

ネットワーク管理者がいるネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に設定の詳細をお問い合わせください。

お使いのネットワークでMACアドレスのフィルタリングをしている場合は、アクセスポイントにカメラのMACアドレスを登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.149）で確認できます。

WPS（PBC方式）で簡単接続

WPS：Wi-Fi Protected Setup（ワイファイ プロテクテッド セットアップ）に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PBC方式（プッシュボタン接続方式）では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントの接続を簡単に行うことができます。

なお、周囲に複数のアクセスポイントが稼動していると、うまく接続できないことがあります。このような場合は、［**WPS（PIN方式）**］で接続してください。

アクセスポイントに付いているWPS用ボタンの場所を、あらかじめ確認しておいてください。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 項目を選ぶ

- ［］、［］、［］、［］のいずれかを選び、〈SET〉を押します。

3 ［インフラストラクチャーモード］を選ぶ

- ［□］（スマートフォンと通信）と［□］（Wi-Fi対応プリンターで印刷）を選んだ場合に表示されます。
- 〈▲▼〉を押して［**インフラストラクチャーモード**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

4 ［WPS（PBC方式）］を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して［**WPS（PBC方式）**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

5 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントのWPS用ボタンを押します。ボタンの場所とボタンを押す時間は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➡ アクセスポイントとの接続が完了すると、［**IPアドレス設定**］画面が表示されます。

6 IPアドレスを設定する

- 〈▲▼〉を押してIPアドレス設定の内容を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

[自動設定]

- ［**自動設定**］で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCPサーバーやDHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
  なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、［**手動設定**］を選んでください。

[手動設定]

- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときは、IP アドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。
  表示される画面にしたがって［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**DNSアドレス**］を設定します。
  設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.166）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。
- IP アドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈⚙〉を回して上側の入力場所を選び、〈◎〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押して設定します。確認画面は表示されません。

通信方法に応じた設定を行う

　ここからは、接続する機器やサービスの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

スマートフォンと通信：6章（p.75）

Wi-Fi対応プリンターで印刷：7章（p.87）

EOS Utilityでリモート操作：8章（p.93）

Windows 7とWindows Vistaをお使いの方へ

EOS Utilityでリモート操作を行うときは、94ページからの操作を行う前に、下記の操作を行ってください。この操作を行わないと、95ページで説明している「ペアリングソフト」が起動しない場合があります。

［C］ドライブ →［Program Files］→［Canon］→［EOS Utility］→［WFTPairing］フォルダの順に開き、［WFT FirewallSettings］アイコンをダブルクリックします。（上記のフォルダ名は例です。お使いの環境によってファイルが保存されている場所は異なります。）この操作を行ってから94ページの操作を行ってください。

メディアプレーヤーで画像閲覧：10章（p.131）

WPS（PIN方式）で簡単接続

WPS：Wi-Fi Protected Setup（ワイファイ プロテクテッド セットアップ）に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PIN方式（ピンコード接続方式）では、カメラが指定する8桁の識別番号をアクセスポイントに設定して接続します。

周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、共通の識別番号で比較的確実に接続することができます。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi］を［使う］に設定したあとで、［Wi-Fi機能］を選びます。

2 項目を選ぶ

- ［ ］、［ ］、［ ］、［ ］のいずれかを選び、〈SET〉を押します。

3 ［インフラストラクチャーモード］を選ぶ

- ［ ］（スマートフォンと通信）と［ ］（Wi-Fi対応プリンターで印刷）を選んだ場合に表示されます。
- 〈▲▼〉を押して［**インフラストラクチャーモード**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

4 ［WPS（PIN方式）］を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して［WPS（PIN方式）］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

5 アクセスポイントにPINコードを設定する

- カメラの液晶モニターに表示される8桁のPINコードをアクセスポイントに設定します。
- アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- PINコードを設定したら［OK］を選び、〈SET〉を押します。

6 アクセスポイントに接続する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➡ アクセスポイントとの接続が完了すると、［IPアドレス設定］画面が表示されます。

7 IPアドレスを設定する

- 〈▲▼〉を押してIPアドレス設定の内容を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

[自動設定]

- ［**手動設定**］で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCP サーバーやDHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
  なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、［**手動設定**］を選んでください。

[手動設定]

- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときは、IP アドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。
  表示される画面にしたがって［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**DNSアドレス**］を設定します。
  設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.166）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。
- IP アドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈〉を回して上側の入力場所を選び、〈〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押して設定します。確認画面は表示されません。

通信方法に応じた設定を行う

ここからは、接続する機器やサービスの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

スマートフォンと通信：6章（p.75）

Wi-Fi対応プリンターで印刷：7章（p.87）

EOS Utilityでリモート操作：8章（p.93）

Windows 7とWindows Vistaをお使いの方へ
EOS Utilityでリモート操作を行うときは、94ページからの操作を行う前に、下記の操作を行ってください。この操作を行わないと、95ページで説明している「ペアリングソフト」が起動しない場合があります。
［C］ドライブ → ［Program Files］ → ［Canon］ → ［EOS Utility］ → ［WFTPairing］フォルダの順に開き、［WFT FirewallSettings］アイコンをダブルクリックします。（上記のフォルダ名は例です。お使いの環境によってファイルが保存されている場所は異なります。）この操作を行ってから94ページの操作を行ってください。

メディアプレーヤーで画像閲覧：10章（p.131）

ネットワークを検索して手動で接続

無線LANの接続先を選ぶ

［**ネットワークを検索**］を選ぶと、近くで稼動中のアクセスポイントの一覧とその情報が表示されます。接続するアクセスポイントのSSID（またはESS-ID）を選びます。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 項目を選ぶ

- ［ ］、［ ］、［ ］、［ ］のいずれかを選び、〈SET〉を押します。

3 ［インフラストラクチャーモード］を選ぶ

- ［ ］（スマートフォンと通信）と［ ］（Wi-Fi対応プリンターで印刷）を選んだ場合に表示されます。
- 〈▲▼〉を押して［**インフラストラクチャーモード**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

4 ［ネットワークを検索］を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して［**ネットワークを検索**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

5 アクセスポイントを選ぶ

- 〈SET〉を押すと、アクセスポイントが選択できるようになります。
- 〈▲▼〉を押してアクセスポイントを選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

①インフラ（インフラストラクチャー）かアドホックを表示
②アクセスポイントが暗号化されているときはアイコンを表示
③SSIDの先頭9文字を表示
④使用しているチャンネルを表示

アクセスポイントの暗号化について

このカメラは、下記の［**認証方式**］と［**暗号化の設定**］に対応しています。そのため、アクセスポイントの暗号化は、下記のいずれかの設定にしてください。

- ［**認証方式**］：オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK
- ［**暗号化の設定**］：WEP、TKIP、AES

［接続先入力］と［再検索］について

- ［**接続先入力**］を選んで〈SET〉を押すと、手動でアクセスポイントに関する設定を行うことができます。表示される内容に従って設定を行ってください。
- ［**再検索**］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントを再検索します。

無線LANの暗号キーを設定する

アクセスポイントに設定されている暗号キーを設定します。設定されている暗号キーについては、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。

なお、下記の手順1～3で表示される画面は、アクセスポイントに設定されている認証方式と暗号方式によって異なります。

1

- ［**キーインデックス**］の画面は、アクセスポイントの暗号方式がWEPのときに表示されます。
- 〈▲▼〉を押してアクセスポイントに設定されているキーインデックスの番号を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

2

- 〈▲▼〉を押してキーの書式と長さを選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

3

- 仮想キーボード（p.14）で暗号キーを入力します。
- ➡ ［**IP アドレス設定**］画面（p.70）が表示されます。

IPアドレスを設定する

- 〈▲▼〉を押してIPアドレス設定の内容を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

［自動設定］

- ［**手動設定**］で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCPサーバーやDHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
  なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、［**手動設定**］を選んでください。

［手動設定］

- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときは、IP アドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。
  表示される画面にしたがって［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**DNSアドレス**］を設定します。
  設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.166）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

- IP アドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈メイン電子ダイヤル〉を回して上側の入力場所を選び、〈サブ電子ダイヤル〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押して設定します。確認画面は表示されません。

通信方法に応じた設定を行う

ここからは、接続する機器やサービスの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

スマートフォンと通信：6章（p.75）

Wi-Fi対応プリンターで印刷：7章（p.87）

EOS Utilityでリモート操作：8章（p.93）

Windows 7とWindows Vistaをお使いの方へ
EOS Utilityでリモート操作を行うときは、94ページからの操作を行う前に、下記の操作を行ってください。この操作を行わないと、95ページで説明している「ペアリングソフト」が起動しない場合があります。
［C］ドライブ →［Program Files］→［Canon］→［EOS Utility］→［WFTPairing］フォルダの順に開き、［WFT FirewallSettings］アイコンをダブルクリックします。（上記のフォルダ名は例です。お使いの環境によってファイルが保存されている場所は異なります。）この操作を行ってから94ページの操作を行ってください。

メディアプレーヤーで画像閲覧：10章（p.131）

6

スマートフォンと通信 -2

スマートフォンと通信して、スマートフォンからカメラ内の画像閲覧や操作、画像の受信ができるほか、スマートフォンを使用してリモート撮影を行うことができます。

スマートフォンがアクセスポイントに接続していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

インフラストラクチャーモードで接続する

この項では、5章からの続きを説明しています。

接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。

カメラアクセスポイントモードで接続するときは、『カメラアクセスポイントモードで接続する』（p.33）を参照してください。

1 スマートフォンのEOS Remoteを起動する

- 左の画面が表示されたら、スマートフォンのEOS Remoteを起動します。

2 スマートフォンで［カメラ接続］を選ぶ

- EOS Remoteの［**カメラ接続**］を選びます。

3 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

- EOS Remoteの［**検出カメラの一覧**］から、接続するカメラを選びます。
- 複数のカメラが表示されるときは、カメラの液晶モニターに表示されたMACアドレスで接続するカメラを特定します。
- MACアドレスは、［**共通設定**］画面（p.149）でも確認できます。

➡ ペアリングが開始されます。

ASCII（アスキー）以外の文字は、□で表示されます。

4 カメラを接続する

- ペアリングが終了すると、左の画面が表示されます。〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押します。
- 公開する画像を制限するときは、〈INFO.〉ボタンを押します。詳しくは、『閲覧できる画像を設定する』(p.81) を参照してください。

5 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順6に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます (p.14)。設定の名称は、最大30文字入力できます。

6 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ ［**動作中**］の画面が表示されます。

これでスマートフォンとのネットワーク設定は完了です。

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンにインストールしたEOS Remoteを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などを行うことができます。

EOS Remoteのメイン画面

EOS Remoteでは、主に下記のことを行うことができます。操作方法は、EOS Remoteの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内画像の表示]

- カメラ内の画像が閲覧できます。
- スマートフォンにカメラの画像を保存することができます。
- カメラ内の画像に対し、削除などの操作を行うことができます。

[リモート撮影]

- カメラのライブビュー映像をスマートフォンで見ることができます。
- カメラの設定を変えることができます。
- レリーズ操作で撮影することができます。

（設定ボタン）

- EOS Remoteの各種設定ができます。

- 閲覧できる画像を制限する（p.81）と、EOS Remoteの機能が制限されます。
- スマートフォンと接続中は、撮影できないことがあります。

接続を終了する

1 [終了] を選ぶ

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で [🔧3] タブの [Wi-Fi機能] を選びます。
- [終了] を選び 〈SET〉 を押します。

2 [OK] を選ぶ

- 〈◄►〉を押して [OK] を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

- スマートフォンへは、S2サイズのJPEG画像で保存されます。RAW画像もS2サイズのJPEG画像で保存されます。
- 動画は一覧に表示されますが、保存はできません。
- 無線LANの接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いた場合は、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

再接続する

接続設定を登録したスマートフォンに再度接続します。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [ ] を選ぶ

- [ ] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- ➡ スマートフォンに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

閲覧できる画像を設定する

カメラ側の操作で、スマートフォンで閲覧できる画像を設定することができます。

1 [Wi-Fi機能]を選ぶ

- [3]タブの[Wi-Fi]を[使う]に設定したあとで、[Wi-Fi機能]を選びます。

2 [ ]を選ぶ

- [ ](スマートフォンと通信)を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の確認と変更]を選ぶ

- [設定の確認と変更]を選び、〈SET〉を押します。

4 [公開画像の設定]を選ぶ

- [公開画像の設定]を選び、〈SET〉を押します。

5 項目を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

［すべての画像］

カード内のすべての画像を公開します。

［今日から何日前までの画像］

撮影日で画像を公開します。最大で9日前までの画像を指定できます。

- 〈▲▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- ［**何日前までに撮影した画像**］のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。日数が〈⇕〉の状態で〈◎〉を回して日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

［レーティング］

レーティングを付加した画像（または付加していない画像）やレーティングの種類で公開する画像を指定します。

- 〈▲▼〉を押してレーティングの種類を選び、〈SET〉を押すと公開する画像が設定されます。

[範囲で指定]

始点　終点

ファイル番号順に並んだ画像の、開始と終了の画像を選んで公開する画像を指定します。

1 〈◄►〉を押してファイルの始点を選びます。

2 〈SET〉を押して、画像の選択画面を表示します。
〈◄►〉や〈◎〉、〈⚙〉で画像を選びます。
〈Q〉ボタンを押して〈⚙〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶこともできます。〈⚙〉を右に回すと1枚表示に戻ります。

3 画像を選び、〈SET〉を押して決定します。

4 同様の操作で、ファイルの終点を設定します。
始点に選んだ画像よりも、あとに撮影した画像を選びます。

5 始点と終点の設定が終わったら、〈▲▼〉を押して[OK]を選び、〈SET〉を押します。

複数の接続設定を登録する

スマートフォンとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能]を選ぶ

- [3]タブの[Wi-Fi]を[使う]に設定したあとで、[Wi-Fi機能]を選びます。

2 [ ]を選ぶ

- [ ](スマートフォンと通信)を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の選択]を選ぶ

- [設定の選択]を選び、〈SET〉を押します。

4 [未設定]を選ぶ

- [未設定]を選び、〈SET〉を押します。

➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

7

Wi-Fi 対応プリンターで印刷 -2

無線LAN で使えるPictBridge（DPS over IP）に対応したプリンターと無線LAN接続して、直接印刷することができます。

プリンターがアクセスポイントに接続していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

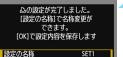
この製品は、無線LAN 経由でのPictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でもPictBridge を利用できるDPS over IP（ディーピーエス オーバー アイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

インフラストラクチャーモードで接続する

この項では、5章からの続きを説明しています。

カメラアクセスポイントモードで接続するときは、『カメラアクセスポイントモードで接続する』（p.46）を参照してください。

1 接続するプリンターを選ぶ

- 検出されたプリンターの一覧が表示されたら、接続するプリンターを選んで〈SET〉を押します。
- ➡ プリンターの機種により、電子音が「ピピッ」と鳴ることがあります。
- プリンターが16台以上検出されたときや、3分以上検索を続けたときは、［**再検索**］が選択できます。

2 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順3に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

3 設定内容を保存する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ [凸動作中] の画面が表示されます。

これでプリンターとのネットワーク設定は完了です。

印刷する

画像を再生する

- 〈▶〉ボタンを押します。
- ➡ 画像が表示され、画面左上にプリンターが接続されたことを示すマーク〈〉が表示されます。
- 以降の操作は、カメラ使用説明書の『画像の印刷』を参照してください。
- カメラ使用説明書の『印刷指定画像のダイレクトプリント』も行うことができます。

接続を終了する

1 [終了] を選ぶ

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で［ 3］タブの［Wi-Fi機能］を選びます。
- ［終了］を選び〈SET〉を押します。

2 [OK] を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

再接続する

接続設定を登録したプリンターに再度接続します。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [**使う**] に設定したあとで、[**Wi-Fi機能**] を選びます。

2 [ ] を選ぶ

- [ ] (Wi-Fi 対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- [**接続**] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [**OK**] を選びます。
- ➡ プリンターに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[**設定の選択**] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

プリンターとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 **[Wi-Fi機能] を選ぶ**

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 **[] を選ぶ**

- [] (Wi-Fi 対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。

3 **[設定の選択] を選ぶ**

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。

4 **[未設定] を選ぶ**

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

8

EOS Utility でリモート操作

EOS Utility で行うリモート操作を、無線LAN で行うことができます。インターフェースケーブルの代わりに無線LANを利用する仕組みなので、リモート撮影だけでなく、EOS Utilityで行うことができるさまざまなカメラ操作が可能です。なお、動画撮影はできません。

EOS Utilityがインストールされているパソコンが、アクセスポイントに接続していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

古いバージョンのソフトウェアでは設定できない場合があります。このカメラに付属のCDからインストールしたソフトウェアをご使用ください。

EOS Utilityの通信設定を行う

この項では、5章からの続きを説明しています。

EOS Utilityでは、カメラに付属のソフトウェア「ペアリングソフト」を使用してパソコンに接続します。

「ペアリングソフト」は、カメラの付属ソフトウェアを「おまかせインストール」している場合、自動的にインストールされています。インストールされていないときは、カメラが接続するパソコンに、あらかじめインストールしておいてください。

ここでは、Windows 7の場合を例にして説明しています。

1 ［OK］を選ぶ

- ペアリングの画面が表示されます。
- 〈◀▶〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押すと下記のメッセージ画面が表示されます。なお、「******」は、接続しようとしているカメラのMACアドレス下6桁です。

2 ペアリングソフトを起動する

- 通常は、EOS Utilityと同じ場所にインストールされています。
- ➡ ペアリングソフトが起動すると、タスクバーにアイコンが表示されます。
- ➡ カメラを検出すると、メッセージが表示されます。

3 ペアリングソフトのアイコンをダブルクリックする

- ➡ 検出されたカメラの一覧が表示されます。すでに接続されているカメラがある場合、そのカメラは一覧の中に表示されません。

- ［**接続**］をクリックします。
- 複数のカメラが表示されるときは、カメラの液晶モニターに表示されたMACアドレスで接続するカメラを特定します。
- MACアドレスは、［**共通設定**］画面（p.149）でも確認できます。

4 ［OK］を選ぶ

- 手順３で［**接続**］操作をしたパソコンが見つかると、左の画面が表示されます。
- 〈◄►〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押します。

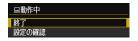
5 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順6に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

6 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ ［**動作中**］の画面が表示されます。

これでEOS Utilityとのネットワーク設定は完了です。

- 一度ペアリングを行った「カメラとパソコンの組み合わせ」で、設定を変えずに使い続ける場合、次回からはペアリングを行う必要はありません。
  次回使うときは、カメラの電源スイッチを入れて、ペアリングソフトを起動するだけで、カメラとパソコンの接続が自動的に行われます。
- ペアリングソフトは、スタートアップメニューに登録することができます。EOS Utilityの［**環境設定**］→［**基本設定**］タブの、［**WFTペアリングソフトをスタートアップに登録する**］（Macintoshは［**WFTペアリングソフトをログイン項目に登録する**］）にチェックを入れてください。

リモートライブビュー撮影では、インターフェースケーブルでの接続時よりも通信速度が遅くなるため、動きのある被写体を滑らかに表示することはできません。

無線LANの接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いたときは、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

EOS Utilityを使う

EOS Utilityの操作方法については、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続したときと同様に、EOS Utilityの機能を使用することができます。

接続を終了する

1 ［終了］を選ぶ

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で［🔧3］タブの［Wi-Fi機能］を選びます。
- ［終了］を選び〈SET〉を押します。

2 ［OK］を選ぶ

- 〈◄►〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

再接続する

接続設定を登録したパソコンに再度接続します。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

［3］タブの［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 ［］を選ぶ

- ［］（EOS Utilityでリモート操作）を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- ［**接続**］を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で［OK］を選びます。
- ➡ パソコンに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、［**設定の選択**］を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

EOS Utilityとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

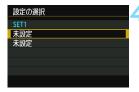
2 [ ] を選ぶ

- [ ] (EOS Utilityでリモート操作) を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。

4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。

➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

9

Web サービスへ画像を送信

いろいろなWebサービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信することができます。

- CANON iMAGE GATEWAYのWebサービスは、国/地域によっては対応していない場合があります。CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト（http://canon.com/cig）でご確認ください。
- 国/地域によっては「Webサービスへ画像を送信」の設定が、パソコンからできない場合があります。

事前準備

CANON iMAGE GATEWAYサービスに登録する

　Webサービスへ画像を送信するためには、CANON iMAGE GATEWAYに会員登録（無料）する必要があります。
　CANON iMAGE GATEWAYでは、撮影した画像をオンラインフォトアルバムにして公開できるほか、さまざまなサービスが使用できます。また、カメラからFacebook、Twitter、YouTubeやメールなどのWebサービスへ無線で画像を送信するときも、その橋渡しをするサイトとなります。パソコンなどからインターネットへ接続し、「http://canon.com/cig」からお住まいの地域のCANON iMAGE GATEWAYのサイトへアクセスし、画面の指示にしたがって会員登録を行ってください。
　CANON iMAGE GATEWAY以外のWebサービスも利用するときは、続けてそのWebサービスへのアカウント登録を行ってください。詳しくは、各Webサービスのwebサイトを確認してください。

- CANON iMAGE GATEWAYをお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境（プロバイダーとの契約やブラウザーソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- CANON iMAGE GATEWAYに接続する際にお使いいただくブラウザー（Microsoft Internet Explorerなど）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAYでご確認ください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト（http://canon.com/cig）でご確認ください。

Webサービスへ画像を送信するための大まかな手順は下記のとおりです。

1 EOS Utilityがインストールされたパソコンを用意します。

カメラに付属のソフトウェアCD-ROMからパソコンにインストールします。

2 パソコンからキヤノンのホームページにアクセスし、CANON iMAGE GATEWAYに会員登録します（無料）。

すでに登録済みの方は手順3に進んでください。

3 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続します。

接続前に［**Wi-Fi**］を［**使わない**］に設定してください。

4 パソコンのEOS Utilityを起動してCANON iMAGE GATEWAYにログインし、Webサービスがカメラで利用できるように設定します。

詳しくは、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。

5 カメラで無線LANのアクセスポイントに接続します（p.106）。

6 カメラに登録したWebサービスに画像を送信します（p.120）。

静止画はCANON iMAGE GATEWAYに、動画はYouTubeに送信できます。

送信した画像を家族や友人と共有できるよう、画像のリンク先をFacebook*やTwitterに投稿したり、カメラに登録したメールアドレスに送ることができます。

* Facebookへは、画像を直接投稿することもできます。

Webサービスを利用するための設定を行う

パソコンのEOS Utilityを起動してCANON iMAGE GATEWAYにログインし、Webサービスがカメラで利用できるように設定します。

詳しくは、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。

アクセスポイントの種類を確認する

● WPS（Wi-Fi Protected Setup：ワイファイ プロテクテッド セットアップ）に対応している場合

・p.107：WPS（PBC方式）で簡単接続
・p.111：WPS（PIN方式）で簡単接続

● WPSに対応していない場合

・p.115：ネットワークを検索して手動で接続

　お使いのアクセスポイントがWPSに対応しているか分からないときは、アクセスポイントの使用説明書などを参照して確認してください。

ネットワーク管理者がいるネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に設定の詳細をお問い合わせください。

お使いのネットワークでMACアドレスのフィルタリングをしている場合は、アクセスポイントにカメラのMACアドレスを登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.149）で確認できます。

WPS（PBC方式）で簡単接続

WPS：Wi-Fi Protected Setup（ワイファイ プロテクテッド セットアップ）に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PBC方式（プッシュボタン接続方式）では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントの接続を簡単に行うことができます。

なお、周囲に複数のアクセスポイントが稼動していると、うまく接続できないことがあります。このような場合は、［**WPS（PIN方式）**］で接続してください。

アクセスポイントに付いているWPS用ボタンの場所を、あらかじめ確認しておいてください。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 ［⊕］を選ぶ

- ［⊕］（Webサービスへ画像を送信）を選び、〈SET〉を押します。

3 Webサービスを選ぶ

- 接続するWebサービスを選び、〈SET〉を押します。
- 表示される項目や順番は、設定によって異なります。
- 接続するWebサービスは、あとから変更することもできます（p.126）。

➡ ［✉］（メール）を選んだときは、登録した連絡先の一覧が表示されます（p.125）。

4 ［WPS（PBC方式）］を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して［WPS（PBC方式）］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

5 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントのWPS用ボタンを押します。ボタンの場所とボタンを押す時間は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。

➡ アクセスポイントとの接続が完了すると、［IPアドレス設定］画面が表示されます。

6 IPアドレスを設定する

- 〈▲▼〉を押してIPアドレス設定の内容を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

[自動設定]

- ［**手動設定**］で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCPサーバーやDHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、［**手動設定**］を選んでください。

[手動設定]

- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときは、IP アドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。
表示される画面にしたがって［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**DNSアドレス**］を設定します。
設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.166）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。
- IP アドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈メイン電子ダイヤル〉を回して上側の入力場所を選び、〈サブ電子ダイヤル〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押して設定します。確認画面は表示されません。

Webサービスに接続する

1 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順2に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます （p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

2 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ 保存後、カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。

これでWebサービスとのネットワーク設定は完了です。

WPS（PIN方式）で簡単接続

WPS：Wi-Fi Protected Setup（ワイファイ プロテクテッド セットアップ）に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PIN方式（ピンコード接続方式）では、カメラが指定する8桁の識別番号をアクセスポイントに設定して接続します。

周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、共通の識別番号で比較的確実に接続することができます。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi］を［使う］に設定したあとで、［Wi-Fi機能］を選びます。

2 ［🌐］を選ぶ

- ［🌐］（Webサービスへ画像を送信）を選び、〈SET〉を押します。

3 Webサービスを選ぶ

- 接続するWebサービスを選び、〈SET〉を押します。
- 表示される項目や順番は、設定によって異なります。
- 接続するWebサービスは、あとから変更することもできます（p.126）。
- ［✉］（メール）を選んだときは、登録した連絡先の一覧が表示されます（p.125）。

4 ［WPS（PIN方式）］を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して［WPS（PIN方式）］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

5 アクセスポイントにPINコードを設定する

- カメラの液晶モニターに表示される8桁のPINコードをアクセスポイントに設定します。
- アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- PIN コードを設定したら［OK］を選び、〈SET〉を押します。

6 アクセスポイントに接続する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➡ アクセスポイントとの接続が完了すると、［**IPアドレス設定**］画面が表示されます。

7 IPアドレスを設定する

- 〈▲▼〉を押してIPアドレス設定の内容を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

[自動設定]

- ［**手動設定**］で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCPサーバーやDHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、［**手動設定**］を選んでください。

[手動設定]

- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときは、IPアドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。
表示される画面にしたがって［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**DNSアドレス**］を設定します。
設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.166）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。
- IPアドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈メイン電子ダイヤル〉を回して上側の入力場所を選び、〈サブ電子ダイヤル〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押して設定します。確認画面は表示されません。

Webサービスに接続する

1 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順2に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

2 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ 保存後、カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。

これでWebサービスとのネットワーク設定は完了です。

ネットワークを検索して手動で接続

無線LANの接続先を選ぶ

［**ネットワークを検索**］を選ぶと、近くで稼動中のアクセスポイントの一覧とその情報が表示されます。接続するアクセスポイントのSSID（またはESS-ID）を選びます。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［🔧3］タブの［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 ［🌐］を選ぶ

- ［🌐］（Web サービスへ画像を送信）を選び、〈SET〉を押します。

3 Webサービスを選ぶ

- 接続するWebサービスを選び、〈SET〉を押します。
- 表示される項目や順番は、設定によって異なります。
- 接続するWebサービスは、あとから変更することもできます（p.126）。
- ［✉］（メール）を選んだときは、登録した連絡先の一覧が表示されます（p.125）。

4 [ネットワークを検索] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して［**ネットワークを検索**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

5 アクセスポイントを選ぶ

- 〈SET〉を押すと、アクセスポイントが選択できるようになります。
- 〈▲▼〉を押してアクセスポイントを選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

①インフラ（インフラストラクチャー）かアドホックを表示
②アクセスポイントが暗号化されているときはアイコンを表示
③SSIDの先頭9文字を表示
④使用しているチャンネルを表示

アクセスポイントの暗号化について

このカメラは、下記の［**認証方式**］と［**暗号化の設定**］に対応しています。そのため、アクセスポイントの暗号化は、下記のいずれかの設定にしてください。

- ［**認証方式**］：オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK
- ［**暗号化の設定**］：WEP、TKIP、AES

[接続先入力] と [再検索] について

- ［**接続先入力**］を選んで〈SET〉を押すと、手動でアクセスポイントに関する設定を行うことができます。表示される内容に従って設定を行ってください。
- ［**再検索**］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントを再検索します。

無線LANの暗号キーを設定する

アクセスポイントに設定されている暗号キーを設定します。設定されている暗号キーについては、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。

なお、下記の手順1～3で表示される画面は、アクセスポイントに設定されている認証方式と暗号方式によって異なります。

1
- ［**キーインデックス**］の画面は、アクセスポイントの暗号方式がWEPのときに表示されます。
- 〈▲▼〉を押してアクセスポイントに設定されているキーインデックスの番号を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

2
- 〈▲▼〉を押してキーの書式と長さを選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

3
- 仮想キーボード（p.14）で暗号キーを入力します。
- ➡ ［**IPアドレス設定**］画面（p.118）が表示されます。

IPアドレスを設定する

- 〈▲▼〉を押してIPアドレス設定の内容を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

［自動設定］

- ［**手動設定**］で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCPサーバーやDHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
  なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、［**手動設定**］を選んでください。

［手動設定］

- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときは、IP アドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。
  表示される画面にしたがって［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**DNSアドレス**］を設定します。
  設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.166）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

- IP アドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈メイン電子ダイヤル〉を回して上側の入力場所を選び、〈サブ電子ダイヤル〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押して設定します。確認画面は表示されません。

Webサービスに接続する

1 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順2に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

2 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ 保存後、カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。

これでWebサービスとのネットワーク設定は完了です。

Webサービスに画像を送信する

撮影した画像を、Facebook、Twitter、YouTubeやメールなど、カメラに登録したWebサービスへ送信して共有することができます。

送信先がYouTube以外のWebサービスのときは、JPEG形式の静止画を送信できます。静止画はCANON iMAGE GATEWAYに保存され、Facebook*やTwitter、メールにはアルバムへのリンクが送信されます。

送信先がYouTubeのときは、動画を送信できます。動画はYouTubeのWebサイトに保存されます。

*Facebookへは、画像を直接投稿することもできます。

1枚ずつ送信する

画像を選んで1枚ずつ送信します。

1 送信する画像を選ぶ

- 〈◄►〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- 〈Q〉ボタンを押して〈ダイヤル〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶこともできます。〈ダイヤル〉を右に回すと1枚表示に戻ります。

2 [この画像を送信]を選ぶ

- 〈◄►〉を押して[**画像サイズ縮小**]を選ぶと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◄►〉を押して[**この画像を送信**]を選び、〈SET〉を押します。

➡ 送信状態を示す画面が表示されます。

- 送信の完了画面で[OK]を選んで〈SET〉を押すと、接続が終了します。

- 送信先がYouTubeのときは、［**利用規約の確認**］画面が表示されます。
- 利用規約をよくお読みのうえ、〈◀▶〉押して［**同意する**］を選び、〈SET〉を押します。
- 〈▲▼〉を押すと、画面をスクロールできます。

接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続を終了します。

パソコンからCANON iMAGE GATEWAYにアクセスすると、Facebook、Twitter、YouTube、メールの送信履歴が確認できます。

画像を選んで送信する

複数の画像を選択して送信します。

1 〈SET〉を押す

2 ［選んで送信］を選ぶ

- 〈◄►〉を押して［**画像サイズ縮小**］を選ぶと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◄►〉を押して［**選んで送信**］を選び、〈SET〉を押します。

3 送信する画像を選ぶ

- 〈◄►〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 送信する画像の左上に〈✓〉が表示されます。

- 〈Q〉ボタンを押して〈 〉を左に回していくと、3画像表示にして選ぶこともできます。〈 〉を右に回すと1枚表示に戻ります。
- 送信する画像の選択が終わったら、〈Q〉ボタンを押します。

4 画像サイズを縮小する

- 必要に応じて設定します。
- 設定方法は、次ページを参照してください。
- 送信先がYouTubeのときは、[**送信画像サイズの縮小**] は表示されません。

5 画像を送信する

- 〈▲▼〉を押して [**送信**] を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 送信状態を示す画面が表示されます。
- 送信の完了画面で [**OK**] を選んで〈SET〉を押すと、接続が終了します。
- 送信先がYouTubeのときは、[**利用規約の確認**] 画面が表示されます。
- 利用規約をよくお読みのうえ、〈◀▶〉を押して [**同意する**] を選び、〈SET〉を押します。
- 〈▲▼〉を押すと、画面をスクロールできます。

- 送信するファイルサイズが大きいときは、電池の残量にご注意ください。
- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続を終了します。
- YouTubeは、圧縮方式ALL-I（I-only）で記録された動画には対応していません（2012年9月現在）。

- CANON iMAGE GATEWAYには、一度に50ファイルまで送信できます。
- 動画は一度に10ファイルまで送信できます。送信できるファイルの容量や再生時間の制限については、YouTubeのWebサイトでご確認ください。

送信する画像サイズを縮小する

［**選んで送信**］を選んだときは、送信の確認画面でも送信する画像の画像サイズを選ぶことができます。

1 ［送信画像サイズの縮小］を選ぶ

- 送信の確認画面で〈▲▼〉を押して［**送信画像サイズの縮小**］を選び、〈SET〉を押します。

2 画像サイズを選ぶ

- 〈▲▼〉を押して画像サイズを選び、〈SET〉を押します。

3 画像を送信する

- 〈▲▼〉を押して［**送信**］を選び、〈SET〉を押して送信します。

- 選択した画像サイズよりも大きい画像のみ縮小されます。
- 動画は縮小できません。
- ［**S2に縮小**］、［**S3に縮小**］が有効になるのは、EOS 6D（WG）で撮影された静止画だけです。それ以外のカメラで撮影された画像は、画像サイズを縮小せずに送信します。

メールを送信する

登録した送信先にメールを送信します。メールにはアルバムへのリンクが送信されます。

送信先の登録や、メールのタイトルと本文はパソコンで設定します。設定方法については、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。

- ［**Webサービスへ画像を送信**］画面で［✉］（メール）を選んだときは、［**送信先**］画面が表示されます。
- 登録した送信先の一覧から送信先を選び、〈SET〉を押します。
- 画像の送信方法は、他のWebサービスに送信するときと同じです。

再接続する

接続設定を登録したWebサービスに再度接続します。アクセスポイントとの接続が完了していれば、Webサービスごとに接続設定を行わなくても接続することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [] を選ぶ

- [] (Web サービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。

3 Webサービスを選ぶ

- 項目を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ [] (メール) を選んだときは、登録した連絡先の一覧が表示されます(p.125)。

4 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- ➡ Webサービスに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

Webサービスとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [] を選ぶ

- [] (Web サービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。

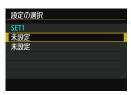
3 Webサービスを選ぶ

- 項目を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ [] (メール) を選んだときは、登録した連絡先の一覧が表示されます (p.125)。

4 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。

5 ［未設定］を選ぶ

- ［**未設定**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

10

メディアプレーヤーで画像閲覧

　カメラにセットされたカード内の画像を、無線LANを経由してテレビで閲覧することができます。

　この機能を利用するためには、DLNA*対応のテレビやゲーム機、スマートフォンなどのメディアプレーヤーが必要です。以降の説明では、メディアプレーヤーと総称しています。

* Digital Living Network Allianceの略

　DLNA対応のテレビなどが、アクセスポイントに接続していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

メディアプレーヤーの通信設定を行う

この項では、5章からの続きを説明しています。

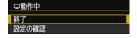
1 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順2に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 仮想キーボードが表示されます（p.14）。設定の名称は、最大30文字入力できます。

2 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。

➡ ［ **動作中**］の画面が表示されます。

これでメディアプレーヤーとのネットワーク設定は完了です。

撮影した画像をテレビに映す

メディアプレーヤーを操作して、カメラにセットされたカード内の画像をテレビに映します。なお、RAW画像と動画は映すことができません。

ここからの操作は、すべてメディアプレーヤーで行います。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。

1 テレビにメディアプレーヤーの設定画面を表示する

- メディアプレーヤー機能を使用して、テレビに〈EOS6D〉（メディアプレーヤー）アイコンを表示します。
- メディアプレーヤーによっては、別のアイコンが表示されることがあります。その場合は、「EOS6D」と表示されているアイコンを探してください。

2 〈EOS6D〉（メディアプレーヤー）アイコンを選ぶ

- 〈EOS6D〉アイコンを選ぶとカードが表示され、さらに選んでいくと、フォルダと画像が選択できます。
- 画像を選んで、テレビに大きく表示させることができます。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。

接続を終了する

1 [終了] を選ぶ

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で［¥3］タブの［Wi-Fi機能］を選びます。
- ［終了］を選び〈SET〉を押します。

2 [OK] を選ぶ

- 〈◄►〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

カメラでライブビュー映像を表示しているときや、HDR逆光補正での撮影中、マルチショットノイズ低減での撮影中は、メディアプレーヤーで画像を正常に再生できない場合があります。

- テレビに表示される画像情報と内容は、メディアプレーヤーによって異なります。また、メディアプレーヤーによっては、画像情報が表示されない場合があります。
- 「1-100」などと表示されているアイコンは、選んだフォルダ（***CANON）に入っている画像を、ファイル番号別に分けたものです。
- 画像に表示される年月日は、画像に付加されているExif情報を元に表示しています。
- カードやフォルダに表示される年月日は、カメラに設定されている今日の日付けが表示されることがあります。
- 無線 LAN の接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いたときは、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

再接続する

接続設定を登録したメディアプレーヤーに再度接続します。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

［3］タブの［Wi-Fi］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 ［ ］を選ぶ

- ［ ］（メディアプレーヤーで画像閲覧）を選び、〈SET〉を押します。

3 接続する

- ［**接続**］を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で［OK］を選びます。
- ➡ メディアプレーヤーに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、［**設定の選択**］を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

メディアプレーヤーとの接続設定を、3つまで登録することができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 [□] を選ぶ

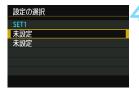
- [□]（メディアプレーヤーで画像閲覧）を選び、〈SET〉を押します。

3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。

4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。

11

クイック設定から無線LANに接続する

接続先の設定が完了している項目では、クイック設定や再生時のクイック設定から、無線LANに接続することができます。

クイック設定から接続先の設定はできません。接続先の設定は、メニュー画面から行ってください。

クイック設定から接続する

接続先の設定が完了しているときは、クイック設定でWi-Fi機能を使うことができます。クイック設定で使うことができる機能は、[□]（スマートフォンと通信）／［□］（EOS Utilityでリモート操作）／［□］（メディアプレーヤーで画像閲覧）の3項目です。

モードダイヤルを応用撮影ゾーンにしてから操作してください。

1 [(( ))] を選ぶ

- 〈Q〉ボタンを押してクイック設定を表示します。
- [(( ))]（Wi-Fi機能）を選び、〈SET〉を押します。
- [3] タブの [**Wi-Fi**] が [**使わない**] に設定されていると、選択できません。
- ➡ 接続中の場合は、左の画面が表示されます。接続先を変更するときは、[**OK**] を選んで〈SET〉を押し、接続を終了してから設定します。

2 接続する項目を選ぶ

- 接続する項目を選び、〈SET〉を押します。
- 接続先が設定されていない項目は、グレーで表示されます。

3 接続する

- [**接続**] を選び、〈SET〉を押します。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[**設定の選択**] を選び、接続先を選んでから接続します。

再生画面から接続する

接続先の設定が完了しているときは、再生時のクイック設定からもWi-Fi機能を使うことができます。再生時のクイック設定で使うことができる機能は、[📷]（カメラ間で画像を送受信）／［🌐］（Webサービスへ画像を送信）の2項目です。

1 〈Q〉ボタンを押す

- 画像を再生した状態で〈Q〉ボタンを押します。
- ➡ クイック設定の項目が表示されます。

2 [(ᵠ)] を選ぶ

- [(ᵠ)]（Wi-Fi機能）を選び、〈SET〉を押します。
- [🔧3] タブの [**Wi-Fi**] が [**使わない**] に設定されていると、選択できません。

- ➡ 接続中の場合は、左の画面が表示されます。[**OK**] を選んで〈SET〉を押し、接続を終了してから設定します。

3 接続する項目を選ぶ

- 接続する項目を選び、〈SET〉を押します。
- 接続先が設定されていない項目は、グレーで表示されます。

➡ [🌐]（Web サービスへ画像を送信）を選んだ場合は、Webサービスの選択画面が表示されます。接続する項目を選び、〈SET〉を押します。
➡ 左の画面で［✉］（メール）を選んだ場合は、送信先の一覧が表示されます（p.125）。

4 接続する

- ［**接続**］を選んで〈SET〉を押します。

➡ カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、［**設定の選択**］を選び、接続先を選んでから接続します。

12

設定の確認／変更／初期化

設定の確認と変更

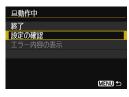
ネットワークの設定内容を確認することができます。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［🔧3］タブの［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。

2 設定を確認する項目を選ぶ

- 〈▲▼〉〈◄►〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- ［🌐］を選んだ場合は、Webサービスの選択画面が表示されます。どの項目を選んでも、表示される設定内容は同じです。

接続中の場合

- 接続中の場合は左の画面が表示されます。
- ［**設定の確認**］を選んで〈SET〉を押すと、設定内容が表示されます。

接続を終了している場合

- 接続先を選んでから［**設定の確認と変更**］を選び、〈SET〉を押します。
- ［**設定の確認**］を選んで〈SET〉を押すと、設定内容が表示されます。

設定内容を変更する

- 設定内容を変更する場合は、147 ページの［**設定の確認と変更**］画面で［**設定の変更**］を選択します。
- ➡ 接続設定画面が表示されます。画面にしたがってもう一度接続設定を行ってください。

設定の名称を変更する

- 設定の名称を変更する場合は、147 ページの［**設定の確認と変更**］画面で［**設定の名称を変更**］を選択します。
- 仮想キーボード（p.14）で設定の名称を入力します。

無線LANの設定を初期化する

無線LANの設定をすべて削除します。カメラを貸与したり譲渡したときに、無線LANの設定が流出することを防ぐことができます。

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [🔧3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。

2 〈INFO.〉ボタンを押す

➡ 共通設定画面が表示されます。

3 [Wi-Fi設定初期化] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [Wi-Fi設定初期化] を選び、〈SET〉を押します。

4 [OK] を選ぶ

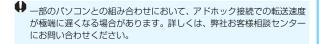
- [OK] を選び、〈SET〉を押します。

➡ [Wi-Fi機能] の設定が初期化され、メニュー画面に戻ります。

[🔧4] タブの [**カメラ設定初期化**] を行っても、[**Wi-Fi機能**] の設定は初期化されません。

13

トラブルシューティング

一部のパソコンとの組み合わせにおいて、アドホック接続での転送速度が極端に遅くなる場合があります。詳しくは、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

エラー表示の対応

表示パネルの〈((ı))〉や〈Wi-Fi〉が点滅したときは、下記のいずれかの方法でエラー内容を表示してください。その後、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。

- ［🔧3］タブの［Wi-Fi］→［**共通設定**］→［**エラー内容の表示**］を選んで〈SET〉を押す。
- ［🔧3］タブの［Wi-Fi］を選んで〈SET〉を押す。

下記のエラー番号をクリックすると該当ページにジャンプします。

11 (p.153)	12 (p.153)			
21 (p.153)	22 (p.154)	23 (p.155)		
61 (p.156)	62 (p.156)	63 (p.157)	64 (p.157)	65 (p.157)
66 (p.158)	67 (p.158)	68 (p.158)	69 (p.159)	
91 (p.159)				
101 (p.159)	102 (p.159)	103 (p.160)	104 (p.160)	105 (p.160)
106 (p.160)	107 (p.160)	108 (p.161)	109 (p.161)	
121 (p.161)	122 (p.161)	123 (p.161)	124 (p.161)	125 (p.162)
126 (p.162)	127 (p.162)			
141 (p.162)				

11： 接続先が見つかりません

- **［□］の場合、EOS Remoteは起動していますか？**

➡ EOS Remoteから接続操作を行ってください（p.37、78）。

- **［⎙］の場合、プリンターの電源は入っていますか？**

➡ プリンターの電源を入れてください。

- **ペアリングソフトは起動していますか？**

➡ ペアリングソフトを起動して、再度接続操作を行ってください（p.95）。

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？**

➡ 暗号化の認証方式が［**オープン**］の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。
大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください（p.69、117）。

12： 接続先が見つかりません

- **接続先の機器とアクセスポイントの電源は入っていますか？**

➡ 接続先の機器とアクセスポイントの電源を入れてください。

21： DHCP サーバーからアドレスが割り当てられていません

カメラの確認内容

- **カメラの設定がIPアドレス［自動取得］になっています。この設定で間違いありませんか?**

➡ DHCPサーバーを使用していない場合は、カメラをIPアドレス［**手動設定**］にして設定を行ってください（p.59、64、70、109、113、118）。

DHCPサーバーの確認内容

- **DHCPサーバーの電源は入っていますか？**

➡ DHCPサーバーの電源を入れてください。

- **DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか？**

➡ DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。

➡ DHCP サーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。

● **DHCPサーバーは正常に機能していますか？**
➡ DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
➡ ネットワーク管理者がいるときは、DHCP サーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

エラー 20番台の対応について
エラー 21～23が表示された場合は、下記の確認も行ってください。
カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
➡ 暗号化の認証方式が［**オープン**］の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください（p.69、117）。

22： DNS サーバーから応答がありません

カメラの確認内容

● **カメラに設定しているDNSサーバーのIPアドレスは合っていますか？**
➡ 使用する DNS サーバーと同じ IP アドレスをカメラに設定してください（p.59、64、70、109、113、118、166）。

DNSサーバーの確認内容

● **DNSサーバーの電源は入っていますか？**
➡ DNSサーバーの電源を入れてください。
● **DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定していますか?**
➡ DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。
● **DNSサーバーは正常に機能していますか？**
➡ DNSサーバーの設定を確認して、DNSサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
➡ ネットワーク管理者がいるときは、DNSサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- **接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？**

➡ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください（p.59、64、70、109、113、118、166）。

➡ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

23： IP アドレスが重複しています

カメラの確認内容

- **カメラと同じネットワークに接続している機器が、カメラと同じ IP アドレスを使用していませんか？**

➡ カメラの IP アドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないようにしてください。または、IPアドレスが重複している他の機器のIPアドレスを変更してください。

➡ DHCPサーバーを使用するネットワーク環境で、カメラがIPアドレス［**手動設定**］の設定になっているときは、IPアドレス［**自動設定**］の設定にしてください（p.59、64、70、109、113、118）。

61： 同じ SSID の無線 LAN 端末が見つかりません

- **アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？**

➡ アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動させてください（p.164）。

カメラの確認内容

- **カメラにアクセスポイントと同じSSIDを設定していますか？**

➡ アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDをカメラに設定してください（p.68、116）。

アクセスポイントの確認内容

- **アクセスポイントの電源は入っていますか？**

➡ アクセスポイントの電源を入れてください。

- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラのMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**

➡ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.149）で確認できます。

62： 無線 LAN 端末からの応答がありません

無線LAN端末の確認内容

- **アドホックで通信するための無線LAN端末が近くにありますか？**

➡ アドホックに設定した無線LAN端末を、カメラの近くに用意してください。

63： 無線 LAN の認証に失敗しました

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証方式を設定していますか？**

➡ カメラで設定できる認証方式は、［**オープン**］、［**共有キー**］、［**WPA-PSK**］、［**WPA2-PSK**］です（p.68、116）。

➡ AirMacでインフラストラクチャーを行うときは、［**オープン**］では接続できません。カメラに［**共有キー**］を設定してください（p.68、116）。

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？**

➡ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラとアクセスポイントに設定してください（p.69、117）。

- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラのMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**

➡ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.149）で確認できます。

64： 無線 LAN 端末に接続できません

- **カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？**

➡ カメラで設定できる暗号化方式は、［**WEP**］、［**TKIP**］、［**AES**］です（p.68、116）。

- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラのMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**

➡ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.149）で確認できます。

65： 無線 LAN の接続が切れました

- **アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？**

➡ アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動させてください（p.164）。

● **何らかの理由で、無線LANの接続が切れ、再接続できない状態になっています。**
➡ アクセスポイントにほかの機器からのアクセスが集中している場合や、電子レンジなどが近くで使用されている場合（IEEE 802.11b/g/n（2.4GHz帯））、雨天や高湿度などの影響が考えられます（p.164）。

66： 無線 LAN の暗号キーが違います

● **カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？**
➡ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラとアクセスポイントに設定してください（p.69、117）。

67： 無線 LAN の暗号方式が違います

● **カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？**
➡ カメラで設定できる暗号化方式は、[**WEP**]、[**TKIP**]、[**AES**] です（p.68、116）。
● **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラのMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**
➡ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.149）で確認できます。

68： 無線 LAN 端末に接続できませんでした。始めからやり直してください。

● **アクセスポイントのWPS（Wi-Fi Protected Setup）ボタンは、アクセスポイントで指示されている時間押しつづけましたか？**
➡ WPS ボタンをアクセスポイントの使用説明書で指示されている時間押しつづけてください。
● **アクセスポイントのすぐ近くで接続操作をしていますか？**
➡ 両方の機器にすぐ手が届く距離で接続操作を行ってください。

69： 複数の無線 LAN 端末を検出したため、接続できませんでした。始めからやり直してください。

- **ほかのアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup）のPBC方式（プッシュボタン接続方式）で接続操作を行っています。**
➡ しばらく待ってから接続操作を行うか、PIN 方式（ピンコード接続方式）で接続操作を行ってください（p.62、111）。

91： その他のエラー

- **エラー 11～69以外の異常が発生しました。**
➡ カメラの電源スイッチを入れ直してください。

101： 接続に失敗しました

- **接続するカメラ側でもカメラ間の接続操作を行っていますか？**
➡ 接続するカメラ側でもカメラ間の接続操作を行ってください。
➡ 接続設定を登録したカメラ同士でも、接続を解除したあと再接続するときには、両方のカメラで再接続の操作を行ってください。
- **複数のカメラが接続しようとしていませんか？**
➡ 一度に接続できるカメラは1台だけです。近くで接続操作を行っているカメラが無いか確認し、再度接続操作を行ってください。

102： 送信に失敗しました

- **両方のカメラから送信を行っていませんか？**
➡ 送信中はデータを受信できません。送信は一方のカメラから行い、受信が完了してから送信してください。
- **受信側カメラのカード残量が不足していませんか？**
➡ 受信側カメラのカードを確認し、カードを交換するか、十分な容量を確保してから再度送信してください。
- **受信側カメラのカードがロックされていませんか？**
➡ 受信側カメラのカードを確認し、ロックを解除してから再度送信してください。

● **受信側カメラのフォルダー番号が999で、画像番号が9999になっていませんか？**

➡ フォルダーやファイル名を自動生成できません。受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

● **カードは正常に動作していますか？**

➡ 受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

103： 受信に失敗しました

● **受信側カメラはデータを受信できる状態ですか？**

➡ 受信側カメラのバッテリーや通信状態を確認し、再度送信してください。

104： 受信に失敗しました。カードがいっぱいです

● **受信側カメラのカード残量が不足していませんか？**

➡ 受信側カメラのカードを確認し、カードを交換するか、十分な容量を確保してから再度送信してください。

105： 受信に失敗しました。カードのスイッチが書き込み禁止位置になっています

● **受信側カメラのカードがロックされていませんか？**

➡ 受信側カメラのカードを確認し、ロックを解除してから再度送信してください。

106： 受信に失敗しました。フォルダと画像番号がいっぱいです

● **受信側カメラのフォルダー番号が999で、画像番号が9999になっていませんか？**

➡ フォルダーやファイル名を自動生成できません。受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

107： 受信に失敗しました。カードにアクセスできません

● **カードは正常に動作していますか？**

➡ 受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

108： 接続が切断されました

- **接続先のカメラが接続を解除していませんか？**

➡ 通信状態を確認し、カメラ間の接続をやり直してください。

109： エラーが発生しました

- **カメラ間の接続中に、エラー 101～108以外の異常が発生しました。**

➡ カメラ間の接続をやり直してください。

121： サーバーの空き容量が不足しています

- **送信先Webサーバーの空き容量が不足しています。**

➡ Webサーバー内の不要な画像を削除し、Webサーバーの空き容量を確認してから再度送信してください。

122： パソコンと接続し、付属のソフトウェアで Web サービスの設定をし直してください

- **カメラに登録したWebサービスがCANON iMAGE GATEWAY上で削除されていませんか？**

➡ カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、EOS UtilityでWebサービスの設定（p.105）をやり直してください。

123： Web サービスにログインできません。パソコンと接続し、付属ソフトウェアで設定し直してください

- **CANON iMAGE GATEWAYのログイン名やログインパスワードを変更していませんか？**

➡ カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、EOS UtilityでWebサービスの設定（p.105）をやり直してください。

124： SSL 証明書が無効です。パソコンと接続し、付属ソフトウェアで設定し直してください

- **ルート証明書が期限切れであるか、ルート証明書が不正です。**

➡ カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、EOS UtilityでWebサービスの設定（p.105）をやり直してください。

125： ネットワークの設定を確認してください

- **ネットワークが接続されていますか？**

➡ ネットワークの接続状態を確認してください。

126： サーバーと接続できませんでした

- **CANON iMAGE GATEWAYがメンテナンス中か、一時的に負荷が集中しています。**

➡ しばらくしてからWebサービスの接続をやり直してください。

127： エラーが発生しました

- **Webサービスの接続中に、エラー 121～126以外の異常が発生しました。**

➡ Webサービスの接続をやり直してください。

141： プリンターは処理中です。もう一度接続して下さい

- **プリンターが印刷中ではありませんか？**

➡ 印刷が終わってから接続をやり直してください。

- **プリンターにほかのカメラが接続していませんか？**

➡ ほかのカメラの接続を終了してから、接続をやり直してください。

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラをチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、別紙の修理受付窓口にご相談ください。

ケーブル接続でパソコンやプリンター、GPS レシーバーなどが使えない

- ［**Wi-Fi**］を［**使わない**］に設定してください。［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定していると、インターフェースケーブルでカメラとパソコン、プリンター、GPS レシーバーなどを接続しても使うことができません（p.17）。

［Wi-Fi］を［使う］に設定できない

- インターフェースケーブルでカメラとパソコン、プリンター、GPSレシーバーなどを接続していると、［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定できません（p.17）。
- ［**多重露出**］を［**する**］に設定すると、多重露出撮影が優先され、Wi-Fi機能が使えないようになります。このとき、［**Wi-Fi**］が［**使う**］になっていても、Wi-Fi機能の項目が灰色に表示され、Wi-Fi機能の使えない状態になります。

無線LANでの注意事項

　無線LANで使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときは、下記の例を参考にして対応してみてください。

アクセスポイント、またはアンテナの設置場所について

- 室内で使用する場合、撮影している部屋に設置してください。
- カメラよりも高い場所に設置してください。
- カメラとの間に、人や遮蔽物が入らない場所に設置してください。
- カメラにできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れる場合があります。

近くにある電子機器について

　下記の電子機器の影響で無線LANの通信速度が遅くなるときは、電子機器の使用をやめるか、機器から離れた場所で通信を行ってください。

- カメラのIEEE.802.11b/g/nは、2.4GHz帯の電波を使用して無線LANを行っています。そのため、同じ周波数帯を使用する電子レンジやコードレス電話機／マイクなどを使うと無線LANの通信速度が遅くなります。
- カメラと同じ周波数帯を使用するWi-Fi機器が近くで稼動していると、無線LANの通信速度が遅くなります。

カメラを複数使うときの注意

- 1つのアクセスポイントに複数のカメラを接続するときは、カメラのIPアドレスが重複しないよう注意してください。
- 1つのアクセスポイントに複数のカメラを接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/g/n（2.4GHz帯）のアクセスポイントが複数あるときは、電波干渉を少なくするために、無線LANのチャンネルを、「1/6/11」、「2/7」、「3/8」というように4チャンネル分、間を開けてください。

セキュリティーについて

- 無線LANの電波は、簡単に傍受できます。そのため、アクセスポイントの設定で電波の暗号化を行うことをおすすめします。

インターフェースケーブルの接続について

- ［**🔧3**］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、インターフェースケーブルの接続が無効になります。［**使わない**］に設定してからインターフェースケーブルを接続してください。
- インターフェースケーブルでパソコンやプリンターなどに接続しているときは、［**Wi-Fi**］の設定を変更することができません。インターフェースケーブルを抜いてから設定を行ってください。

Eye-Fi カードの使用について

- ［**🔧3**］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、Eye-Fiカードでの画像転送はできません。

動画撮影について

- ［**🔧3**］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、動画撮影ができません。

ネットワークの設定を確認する

Windows

Windowsの［**スタート**］ボタン→［**すべてのプログラム**］→［**アクセサリ**］→［**コマンドプロンプト**］を選びます。ipconfig/allと入力して、〈**Enter**〉キーを押します。

パソコンに割り当てられているIPアドレスのほかに、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーの情報が表示されます。

なお、59、64、70、109、113、118ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

Macintosh

Mac OS Xの［**ターミナル**］を開き、ifconfig -aと入力して〈**Return**〉キーを押します。［en0］項目［inet］の ***.***.***.*** がパソコンに割り当てられているIPアドレスです。

なお、59、64、70、109、113、118ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

* ［**ターミナル**］については、Mac OS Xのヘルプを参照してください。

14

資料

主な仕様

■無線LAN

準拠規格..IEEE802.11b
IEEE802.11g
IEEE802.11n

伝送方式..DS-SS変調方式（IEEE802.11b）
OFDM変調方式（IEEE802.11g、IEEE802.11n）

通信距離..約30m
* 送受信アンテナ間に障害物、遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合
* アクセスポイントに高性能大型アンテナを設置している場合

送信周波数（中心周波数）

周波数	チャンネル
2412～2462MHz	1～11ch

接続方法..インフラストラクチャーモード*、アドホックモード、カメラアクセスポイントモード
* Wi-Fi Protected Setup対応

セキュリティー ....認証方式：オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK
暗号化：WEP、TKIP、AES

■LAN機能

カメラ間で画像を送受信.................. 1枚送信
画像選択送信
リサイズ送信

スマートフォンと通信......................スマートフォンで画像の閲覧／操作／受信
スマートフォンでカメラをリモートコントロール

EOS Utilityでリモート操作............EOS Utilityのリモートコントロール機能および画像閲覧機能を無線LANで実現

Wi-Fi対応プリンターで印刷.............DPS over IP対応プリンターへ印刷画像を送信

Webサービスへ画像を送信 ....CANON iMAGE GATEWAYへカメラ内画像を送信
Facebook*、Twitter、メールへリンク先を送信
YouTubeへカメラ内動画を送信
* Facebookへは、画像を直接投稿することもできます。

メディアプレーヤーで画像閲覧 ....DLNA対応メディアプレーヤーを利用して画像を閲覧

● 記載データはすべて当社試験基準によります。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00～20：00
土・日・祝日 10：00～17：00
（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※ おかけ間違いのないようにご注意ください。

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。

※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙の修理受付窓口でご確認ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

canon.jp/eos-d

CPY-J056-000